



【高校生看護体験 6頁】

目 次

●地域包括ケアシステムについて	2～3
●ねっとわーく	
清水医院	4
さの小児科医院	5
●地震総合訓練	4～5
●話題の広場	
高校生看護体験	6
ポジショニングセミナー	6
バイオリンコンサート	7
トロンボーンコンサート	7
●認定看護師の紹介	7
●情報カプセル	8
「治験」って知ってる？	
●職場紹介	8
患者サポートセンター	
●新任医師の紹介	8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- ⑤私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

～飯田市立病院の役割と取り組み～

◎地域包括ケア病棟で患者さんと地域のニーズに応える

○地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟とは、急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受け入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟又は病室。（厚生労働省資料より抜粋）

※平成26年度診療報酬改定において新設。



中村副院長説明

○12月1日より地域包括ケア病棟の運用を開始

飯田市立病院では、地域包括ケア病棟を12月1日より運用開始します。この数か月間は、病院全体での説明会やワークショップなどを開催しながら、職員一人一人が地域包括ケア病棟についての理解を深めてきました。地域住民の期待にしっかりと応えられるように、地域内の医療機関や介護保険事業者等と連携協力して運用を進めていきます。



研修風景



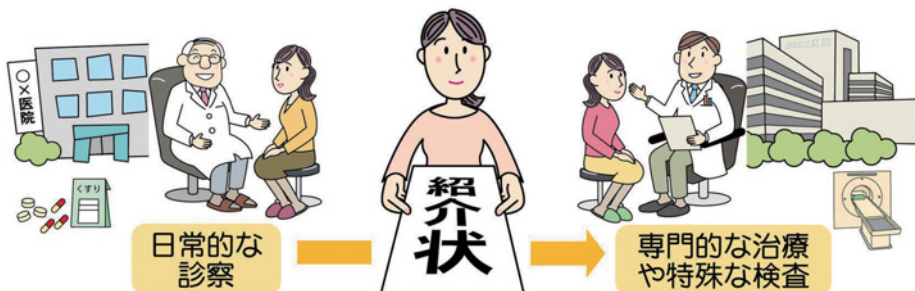
グループワーク

◎地域医療支援病院としての役割を果たす

飯田市立病院は、飯伊医療圏で唯一の地域医療支援病院です。地域医療の第一線を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援するために、「地域医療連携」を強く推進しています。かかりつけ医等との役割分担による医療体制を地域に根付かせていくことが、将来にわたり私たちの地域の医療を守り続けていくことに繋がります。体調が思わしくないと感じたら、まずかかりつけ医を受診する、そんな地域を目指しています。

飯田市立病院での初診につきましては、これまでも広報誌等でお知らせしておりますとおり、緊急の場合を除き、地域のかかりつけ医等からの紹介状による予約受診にご理解とご協力をお願いします。

「かかりつけ医」を持ちましょう



まず「かかりつけ医」の診察を受けましょう。

「かかりつけ医」の判断により「紹介状」をいただき、飯田市立病院を受診してください。

飯田医師会／飯伊地区包括医療協議会／飯田市立病院



清水医院

(飯田市三日市場)



木の香りのする精神科医院です

清水医院 院長 神庭 靖子

当院は、昭和43年に、私の両親が外科内科医院として開業し、来年で開業50周年を迎えます。当時は、入院治療もしていましたが、5年前に、古くなった旧医院の建物を建て替えて、現在は、精神科医院として、私が外来のみの一般精神科診療を行っています。成人の患者さんだけでなく、児童思春期の患者さんが多く来院されるのが、当院の特徴です。不登校や集団不適應、いじめ・いじめられ、身体症状(頭痛、腹痛、視力低下など)で他科を受診したけれど、身体の客観的異常所見は見られないと言われ、精神科受診を勧められ

た、などといった悩みを持つ園児、小学生、中学生、高校生、大学生の方たちが多く来院されます。また、妊娠、出産に伴う不安や悩み、子育て中のお母さんたちの育児についての相談にもなっています。地域の子どもさんたちの心が健康に育つことが、この地域の宝になると信じ、少しでもそのお役に立てればと思って、日々の診療をしています。完全予約

制ですので、初診までお待たせすることになりますが、心を込めて診療させていただきます。お気軽にご相談ください。



神庭先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地 〒395-0155 飯田市三日市場1065-5番地

☎0265-25-7152

診療科目 精神科

診療時間 8:30~12:00 / 13:00~17:00

休診日 木曜日 土曜日 日曜日 祝日

駐車場 あり



地震総合訓練



大規模事故・災害への体系的な対応に必要な項目(CSCATTT)

市立病院では9月3日、地震総合訓練を行いました。この訓練は、当院がこの地域の災害拠点病院として災害救急医療体制を整えることを目的に、毎年度行っています。

今年度は、5月から4回の災害時リーダー研修会を開催し、災害発生時の対応を学び、その成果の確認の場として、エマルゴトレーニングシステムを利用した机上訓練により行いました。訓練では、災害対策本部、病棟・手術室、トリアージ・赤エリアの3部門に分かれ、それぞれ提示された災害時の状況に対応

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

さの小児科医院

(飯田市羽場坂町)



いつでもご相談下さい

さの小児科医院 院長 佐野 葉子

さの小児科医院は、今年の10月で開業6年目を迎えます。当院は飯田市役所から羽場坂を下り、マリエール方面に曲がらずにまっすぐ約200mいった場所にあります。

私は平成7年に藤田保健衛生大学を卒業し、小児科に入局しました。大学関連病院や長野県立こども病院で勤務し、平成22年から飯田市立病院勤務を経て平成24年に父の後を継ぎ開業しました。

小児科の中でも新生児医療を専門としてきましたが、長く勤務した大学病院小児科が小児科領域すべての疾患を他科に紹介

する前になるべく診断・治療をするという方針でしたので、新生児医療にかかわらず様々な疾患を経験し鍛えられてきました。もちろんその考えは今も変わりませんが、開業医ではできる限界がありますので、市立病院小児科の先生方をはじめ近隣の開業医の先生には大変お世話になっています。

診療は、小児科一般診療と予防接種がほとんどですが、時々、食物アレルギー負荷試験を実施しています。2日間続けて午前中4時間をかけ、アレルギーと考えられる食物を負荷する事で、本当にその食物が原因になって

いるか、血液検査で高い数値が出ていても実際はどうなのかなどを判断しています。

今後も、小児の地域医療に貢献し、何か困った時に頼りにされるようなクリニックを目指して努力していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。



佐野先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地 〒395-0073 飯田市羽場坂町2345-8番地

TEL 0265-48-5351

診療科目 小児科、小児アレルギー科

診療時間 8:45~12:00 / 15:30~18:00

(月曜のみ15:00~18:00)

14:00~15:00(火・木・金) 予防接種専用

休診日 水曜日午後 土曜日午後 日曜日 祝日

駐車場 あり



できるように取り組みました。また、訓練は3回行い、参加者はすべての部門を経験することで、災害時対応の全体像を理解するとともに、それぞれの部門の役割や部門間相互の連携の重要性を確認することができたと思います。

11月5日には長野県総合防災訓練が飯田市を会場に行われますが、市立病院では今回の訓練を踏まえて、実働訓練を行います。また、これらの訓練から明らかになった課題を元にマニュアル改正を行うとともに、業務継続計画の策定を行い、災害発生や大規模な事故の発生時に適切な対応ができるように備えていきます。





うになった。」との感想をいただきました。

高校生活は勉強や部活で忙しいと思いますが、今後も目標を持ち続け、看護師になる夢を叶えていただきたいと思います。

7月28日、8月4日に高校生看護体験を行いました。2日間で延べ33名の高校2年生、3年生に参加していただき、看護師の日常業務の体験、ICU、手術室、救命救急センター、周産期センターなどの部署見学をしていただきました。

高校生の皆さんが緊張しながらも、とても楽しそうに患者さんと会話をしている姿が印象的でした。

体験終了後、高校生の皆さんからは「看護師の仕事内容を知ることができてよかった。」「看護師になりたいと今までより強く思うよ

ポジショニングセミナー

9/9

ポジショニングは、position＝位置ということに関連していただくと理解しやすいのですが、身体の安楽な位置取り、姿勢保持ということを意味します。病院へ入院される方はほとんどの時間をベッド上で過ごすことになりますが、自力で体を動かすことのできないような方は、痛みが強い姿勢、苦痛な姿勢のまま何時間も過ごさなければなりません。声に出して訴えることができなければ、気づきが遅れて床ずれなどの合併症を引き起こしてしまうことになります。病院ではこのような苦痛や弊害を予防するために患者さんに対する積極的なポジショニングを実施しています。

去る9月9日には、飯田市立病院講義室で、その基礎技術を学ぶポジショニング研修会が行われました。研修会は、院内の褥瘡対策委員会しよくそうが中心となり、近隣施設の皮膚・排泄ケア認定看護師や理学療法士の協力をいただきながら開催し、院内外から総勢60人が参加されました。参加者からは、「とても勉強になった」「ちょっとした工夫で寝心地や快適さが違うことがわかった」などの声が聞かれました。

毎年10月20日は、「床ずれ予防の日」です。今後もこのような研修を通し、地域で床ずれ予防を考える仲間作りの輪を広げていきたいと思っています。



バイオリンコンサート

7/28

7月28日、バイオリン奏者渋谷節子さんによるソロコンサートが病棟デイルームで開催され、大勢の患者さんや家族の方が集まりました。

「浜辺の歌」、「川の流れるように」などの懐かしい曲の演奏に口ずさむ方もおられ、演奏の途中では高価なバイオリンのお話を聞き、また、「君の瞳に恋してる」では、みんなで手拍子をしながら演奏を聞いたり、このコンサートを楽しみました。

コンサートが終わるころには雨もやみ、バイオリンの美しい音色に癒され、気分もすっきりとしました。



トロンボーンコンサート

8/23



8月23日、病棟デイルームで、日本を代表するプロトロンボーン奏者の矢巻正輝氏（大阪交響楽団）、奥村晃氏（新日本フィルハーモニー交響楽団）と、プロ奏者をを目指す若手音楽家によるトロンボーンコンサートが開催されました。

クラシックの名曲から、童謡、映画のテーマ曲などの耳馴染みのある曲まで、訪れた患者さんたちは、普段聴くことができないトロンボーンの生演奏に聞き入りました。

認定看護師の紹介

その8

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことです。患者さんの療養生活の向上と疾病を抱えながらも在宅でその人らしい生活が送れるために、専門的知識をもつ認定看護師を中心とし、フットケア、ストーマ管理、褥瘡^{しよくそう}予防、リンパ浮腫ケア、緩和ケア等を行っています。当院の認定看護師を紹介します。

集中ケア認定看護師

集中ケア認定看護師とは患者・家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する看護師です。具体的には、心臓疾患や脳血管疾患、生命の危機状態にある患者などに対して適切なアセスメントを行い、病態の変化を予測し、重篤化しないよう援助することを専門としています。また、特殊な環境下で治療を受ける患者の安全・安楽を確保するため、医療チーム内でリーダーシップを発揮し、多職種と連携・協働して、ケアを行っています。患者さん及びその御家族に対して、病気を患ってから、退院後の生活の質（QOL）も見据えたケアを提供しています。





情報カプセル



「治験」って知ってる？

普段、私たちが病気にかかって病院を受診するとお薬が処方され、それを使用しています。しかし、効果的な治療をするための薬がなかったり、効果が弱かったり、副作用で困ったりすることがあります。そういった場合でも、治療法のなかった「くすり」や、より効果が強く、より安全な「くすり」が開発されれば問題は解決します。治験では、新しい「くすり」の正しい効き目と副作用を調べるためにさまざまな工夫を行っています。安心して参加できるように、国が定めたルールで、参加する方の人権や安全、プライバシーの保護も行っています。治験には、メリット（良いこと）とデメリット（良くないこと）があります。治験への参加協力のお話があった場合は、治験担当者からの詳しい説明をよく聞いて、それらをご理解いただいたうえで参加するようにしてください。治験は未来への贈り物です。より優れた「くすり」を使用できるようにしてゆくために、ご協力をお願いいたします。

シリーズ ● 職場紹介 ● その54

【患者サポートセンターの紹介】

患者サポートセンターは、一階外来エリアの窓口16番にあります。外来で手術・内視鏡治療を目的に入院予約をした患者さんを対象に、入院準備の支援を行っています。

サポートセンターには看護師、薬剤師、医療コンシェルジュが常駐しています。3室ある個室で入院のご案内やお話を伺い、患者さんの不安を軽減し、安心して入院できるようご家族を含め、関わらせていただいています。

薬剤師はご持参のお薬調べや、服薬状況を確認し、医師から中止指示の出ているお薬について休薬説明を行い安全に手術、内視鏡検査を受けられるようご支援をしています。

医療福祉係(メディカルソーシャルワーカー)は、医療・福祉相談を行っています。患者さ

んのニーズに応じ、医療福祉係をはじめ病院内の多くの職種が患者サポートセンターで入院から退院までの支援に当たらせていただいています。



新任医師の紹介

平成29年7月～10月



産婦人科

田中 泰裕

(たなか やすひろ)

平成24年3月卒業

平成29年9月1日着任

前勤務病院

相澤病院



耳鼻いんこう科

渡邊 築

(わたなべ きよさき)

平成26年3月卒業

平成29年10月1日着任

前勤務病院

信大附属病院



小児科

古井 優

(ふるい ゆう)

平成27年3月卒業

平成29年10月16日着任

前勤務病院

信大附属病院

あ と が き

この夏、たくさんの実をつけたわが家のミニトマトですが、先日の台風18号で支柱ごと倒れてしまいシーズンを終えました。飯田下伊那でもなしやりんごの被害が出たようですが、生産者の方にはお見舞い申し上げます。これから稔りの秋を迎えますが、作物が風水害などに遭わず無事収穫されることを願うばかりです。

編集委員 阿部 直樹